

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 大
 コード番号 3600 URL <http://www.fjx.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 山本 和良 TEL 075(463)8111
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,796	6.5	27	35.5	64	△1.5	77	△61.0
23年3月期第3四半期	4,501	33.0	20	—	65	—	198	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 98百万円(66.7%) 23年3月期第3四半期 65百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第3四半期	11	25	—	—
23年3月期第3四半期	28	85	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,955	—	8,365	—	80.4	—
23年3月期	9,966	—	8,376	—	81.2	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,003百万円 23年3月期 8,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	0 00	—	15 00	15 00	—
24年3月期	—	0 00	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12 50	12 50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,357	6.3	△2	—	41	7.8	52	△66.8	7	61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期3Q	7,340,465株	23年3月期	7,340,465株
24年3月期3Q	447,179株	23年3月期	446,788株
24年3月期3Q	6,893,473株	23年3月期3Q	6,894,062株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により低下した生産活動や個人消費に回復傾向が見られたものの、欧州の信用不安による世界経済の減速や、円高の長期化による輸出企業の収益低下懸念など、引き続き不透明感の拭えぬ状況で推移しました。

縫い糸業界におきましては、一部の分野を除いてアパレル業にも回復傾向が見られ、衣料品の主な縫製地である中国やアジア諸国の縫製需要は概ね順調なものの、国内においては、特に東日本大震災の影響が大きかった東北地区の縫製業の回復が遅れております。

このような状況下で、当社グループは、引き続き当社グループの中長期の諸課題に取り組んでまいりました。この結果、国内事業においては、平成22年12月に新たに国内連結子会社となった株式会社ニットマテリアルの売上高が加わったこと、また中国事業においては全般に受注が堅調であったことにより、連結売上高は、4,796百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

一方利益面は、中国事業が堅調の一方で、平成23年7月に開設した東北物流センターをはじめとする将来を見据えた経費負担、子会社も含めた国内人件費の増加など、国内事業における先行的な経費負担が大きく、営業利益は27百万円（前年同期比35.5%増）、経常利益は64百万円（前年同期比1.5%減）にとどまりました。

また、中国子会社の移転に伴う受取補償金247百万円、資産除去債務戻入額98百万円を特別利益に、移転に際して見込まれる損失額84百万円を特別損失にそれぞれ計上しました。また、一方で中国子会社の増益に伴い、少数株主利益が93百万円（前年同期比90百万円増）、法人税等合計が152百万円（前年同期比119百万円増）と増加しました。これらの結果、四半期純利益は77百万円（前年同期比61.0%減）となりました。

なお、前年同期には、棚卸資産評価方法変更に伴う影響額356百万円を特別利益に、資産除去債務影響額109百万円、東京支店の改築関連損失122百万円を特別損失に計上したこともあって、前年同期比では、上記の通りの大幅な減益となっております。

また、タイ国サハグループとの合弁契約締結に基づき平成23年6月に設立いたしました合弁販売会社FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.は、営業活動が当初予定より若干遅れておりますが、今般のタイ国における大規模な洪水による直接的な被害はありません。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は、次のとおりです。

日本

東日本大震災や夏場の電力供給懸念などによる消費マインドの低迷は回復傾向が見られるものの、欧州の信用不安や長期にわたる円高による景気減速懸念、税制と年金問題の行方など、将来に対する不安感払拭されず、個人消費の先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、国内事業においては、新たな国内子会社増加による売上増や、家庭用縫い糸のシェア拡大、海外向け販売の拡大など、取り組んできた諸課題の成果も表れつつありますが、震災の影響による国内での自動車生産の減少や、東北地区を中心とした縫製業の回復遅れなどもあって、当セグメントの売上高は、3,897百万円（前年同期比5.0%増）にとどまりました。

また、上述の通り、国内事業においては、東北物流センターの開設をはじめとする将来を見据えた投資を積極的に行っていることから経費負担も増加しており、当セグメントの営業損失は115百万円（前

年同期は88百万円の損失)となりました。

なお、国内連結子会社は、いずれも事業年度末が1月末日であり、当第3四半期連結累計期間には、子会社各社の平成23年2月から10月までの業績が連結されており、国内連結子会社の震災等による影響は、この期間に対応するものであります。

中国

中国縫製市場におきましては、人件費上昇や縫製人員の確保難の状況に若干の改善傾向が見られることや、中・高級衣料品の縫製需要が引き続き堅調であったことから中国連結子会社の縫い糸受注も順調で、当セグメントの売上高は、898百万円(前年同期比13.6%増)となりました。

また、利益面も当第2四半期連結累計期間同様、売上高の増加と高い操業度が維持されており、当セグメントの営業利益は163百万円(前年同期比57.7%増)となりました。

なお、中国連結子会社は、いずれも事業年度末が12月末日であり、当第3四半期連結累計期間には子会社各社の平成23年1月から9月までの業績が連結されております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて11百万円減少し、9,955百万円となりました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金の減少227百万円、たな卸資産の増加129百万円、その他の増加278百万円、固定資産では、有形固定資産の減少203百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べてほぼ増減はなく、1,590百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金の増加119百万円、事業所改築関連損失引当金の減少101百万円、移転損失引当金の発生82百万円、資産除去債務の減少101百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて11百万円減少し、8,365百万円となりました。主な増減は、その他有価証券評価差額金の減少35百万円などがありました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期連結業績につきましては、わが国の個人消費の動向は不透明ながら、平成23年11月7日に国内外の状況を踏まえて「業績予想の修正」として開示した数値に変更はありません。

2. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,923,172	2,695,650
受取手形及び売掛金	1,508,479	1,593,552
たな卸資産	2,583,044	2,712,358
その他	93,560	372,201
貸倒引当金	△37,860	△36,826
流動資産合計	7,070,396	7,336,936
固定資産		
有形固定資産	1,534,355	1,330,707
無形固定資産		
その他	89,929	72,032
無形固定資産合計	89,929	72,032
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,274,144	1,220,153
貸倒引当金	△2,289	△4,471
投資その他の資産合計	1,271,854	1,215,682
固定資産合計	2,896,139	2,618,422
資産合計	9,966,536	9,955,358
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	464,607	583,637
未払法人税等	20,393	106,478
賞与引当金	66,392	28,209
事業所改築関連損失引当金	111,562	9,889
資産除去債務	2,514	—
その他	326,229	289,999
流動負債合計	991,700	1,018,214
固定負債		
長期借入金	53,235	51,465
退職給付引当金	72,910	73,583
役員退職慰労引当金	162,692	160,454
移転損失引当金	—	82,079
資産除去債務	118,456	16,921
その他	191,100	187,289
固定負債合計	598,395	571,794
負債合計	1,590,095	1,590,008

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,502,720	6,472,565
自己株式	△105,684	△105,792
株主資本合計	8,078,375	8,048,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,041	68,252
為替換算調整勘定	△84,870	△112,590
その他の包括利益累計額合計	19,170	△44,337
少数株主持分	278,894	361,576
純資産合計	8,376,440	8,365,350
負債純資産合計	9,966,536	9,955,358

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	4,501,498	4,796,070
売上原価	3,197,519	3,408,548
売上総利益	1,303,978	1,387,521
販売費及び一般管理費	1,283,850	1,360,242
営業利益	20,128	27,278
営業外収益		
受取利息	5,441	5,087
受取配当金	17,061	16,687
その他	43,070	29,497
営業外収益合計	65,573	51,272
営業外費用		
支払利息	3,156	1,470
有価証券評価損	11,122	5,025
その他	5,559	7,192
営業外費用合計	19,838	13,687
経常利益	65,863	64,862
特別利益		
受取補償金	—	247,000
資産除去債務戻入額	—	98,338
棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額	356,526	—
その他	47,255	626
特別利益合計	403,782	345,964
特別損失		
移転損失	—	84,122
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	109,755	—
事業所改築関連損失	122,785	—
その他	2,096	2,689
特別損失合計	234,637	86,812
税金等調整前四半期純利益	235,008	324,014
法人税、住民税及び事業税	29,636	140,122
法人税等調整額	3,405	12,749
法人税等合計	33,041	152,871
少数株主損益調整前四半期純利益	201,967	171,142
少数株主利益	3,092	93,605
四半期純利益	198,875	77,537

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	201,967	171,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,150	△35,788
為替換算調整勘定	△109,894	△36,487
その他の包括利益合計	△136,044	△72,276
四半期包括利益	65,922	98,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,087	14,029
少数株主に係る四半期包括利益	△23,164	84,837

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,710,641	790,856	4,501,498	—	4,501,498
セグメント間の内部 売上高又は振替高	224,208	395,646	619,855	△619,855	—
計	3,934,850	1,186,502	5,121,353	△619,855	4,501,498
セグメント利益又は損失 (△)	△88,187	103,960	15,772	4,356	20,128

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額4,356千円は、セグメント間取引消去によるものです。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,897,925	898,144	4,796,070	—	4,796,070
セグメント間の内部 売上高又は振替高	288,873	378,992	667,866	△667,866	—
計	4,186,798	1,277,137	5,463,936	△667,866	4,796,070
セグメント利益又は損失 (△)	△115,471	163,921	48,450	△21,172	27,278

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△21,172千円は、セグメント間取引消去によるものです。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。